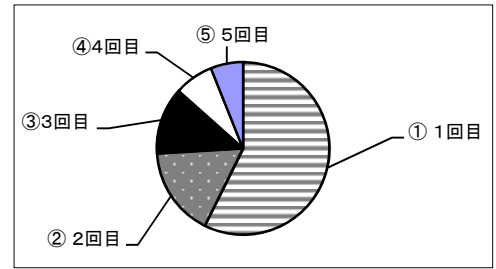


SPODフォーラム2013事前アンケート集計結果

アンケート回答者数:478名 (webでの受講申込時に実施)

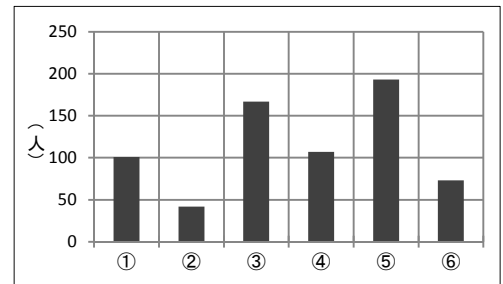
1. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	274	57.3%
② 2回目	80	16.7%
③ 3回目	60	12.6%
④ 4回目	35	7.3%
⑤ 5回目	29	6.1%
計	478	100.0%



2. SPODフォーラムをどこで知りましたか？(複数選択可)

	度数	割合
① SPODホームページ	101	21.1%
② SPODメールマガジン	42	8.8%
③ SPODフォーラムチラシ	167	34.9%
④ SPOD研修プログラムガイド2013	107	22.4%
⑤ SPOD関係者からの案内	193	40.4%
⑥ その他	73	15.3%
アンケート回答者数	478	

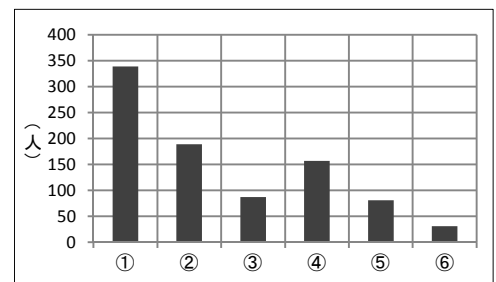


その他の記述内容

- ・ テニユアトラックのガイダンス(12)
- ・ 職場での案内(23)
- ・ 関係者による講演会で(2)
- ・ 参加者の口コミ(3)
- ・ 研修担当者からの案内(8)
- ・ 大学コンソーシアム京都から
- ・ 南大阪地域大学コンソーシアム
- ・ 広島大学高等教育研究開発センターメールマガジン
- ・ 昨年度参加した東北SDフォーラム
- ・ 上司からの案内(3)
- ・ あさがおML(2)

3. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	339	70.9%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	189	39.5%
③ 組織を超えた人脈づくりのため	87	18.2%
④ FDやSDに関する情報収集のため	157	32.8%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	81	16.9%
⑥ その他	31	6.5%
アンケート回答者数	478	



その他の記述内容

- ・ テニユアトラックの研修(14)
- ・ 新任採用における指導の一環のため
- ・ 帰省のついで
- ・ 大学からすすめられた(3)
- ・ 研修のため
- ・ 本学の研修プログラムの一つであるため
- ・ 勉強会実施のため
- ・ 大学としての方針・取組みを知るため

SPODフォーラム2013全体アンケート集計結果

当日参加者数

SPOD加盟校から:369名

SPOD加盟校以外から:191名

合計:560名

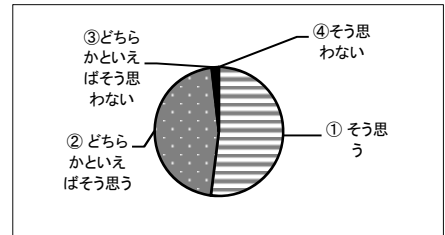
アンケート回答者数:226名(フォーラム終了後、web入力にて実施)

回答率:40.3%

1. SPODフォーラムでの研修成果について

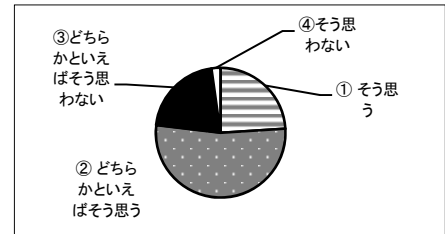
【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	117	52.0%
② どちらかといえばそう思う	104	46.2%
③ どちらかといえばそう思わない	4	1.8%
④ そう思わない	0	0.0%
計	225	100.0%



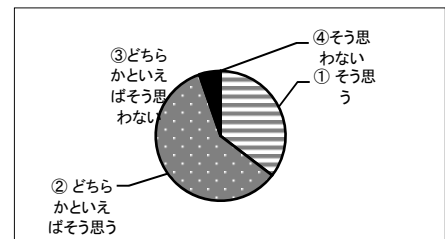
【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	54	24.0%
② どちらかといえばそう思う	119	52.9%
③ どちらかといえばそう思わない	47	20.9%
④ そう思わない	5	2.2%
計	225	100.0%



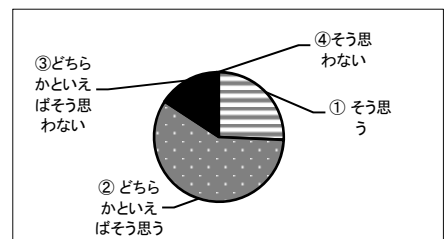
【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	80	35.4%
② どちらかといえばそう思う	134	59.3%
③ どちらかといえばそう思わない	12	5.3%
④ そう思わない	0	0.0%
計	226	100.0%



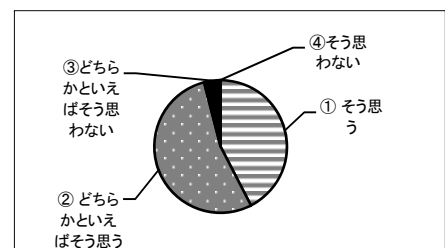
【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	57	25.7%
② どちらかといえばそう思う	130	58.6%
③ どちらかといえばそう思わない	34	15.3%
④ そう思わない	1	0.5%
計	222	100.0%



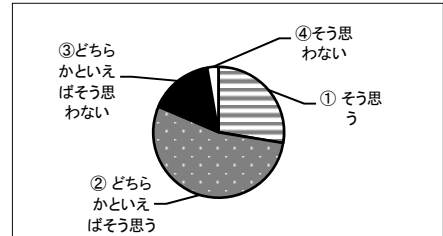
【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	95	42.4%
② どちらかといえばそう思う	120	53.6%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.0%
④ そう思わない	0	0.0%
計	224	100.0%



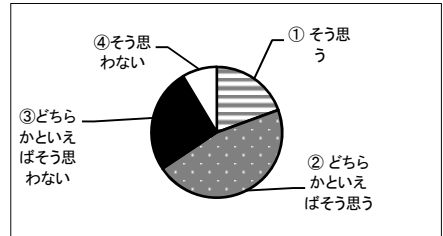
【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	61	27.6%
② どちらかといえばそう思う	119	53.8%
③ どちらかといえばそう思わない	35	15.8%
④ そう思わない	6	2.7%
計	221	100.0%



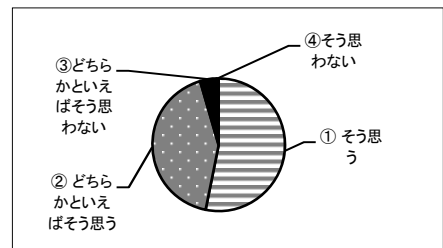
【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	43	19.5%
② どちらかといえばそう思う	102	46.2%
③ どちらかといえばそう思わない	57	25.8%
④ そう思わない	19	8.6%
計	221	100.0%



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	118	53.2%
② どちらかといえばそう思う	94	42.3%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.1%
④ そう思わない	1	0.5%
計	222	100.0%



2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 大学	199	88.1%
② 短期大学	18	8.0%
③ 高等専門学校	7	3.1%
④ その他	2	0.9%
計	226	100.0%

所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	78	34.5%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	22	9.7%
③ 学校法人	122	54.0%
④ その他	4	1.8%
計	226	100.0%

所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	152	67.3%
② 東北	3	1.3%
③ 関東	21	9.3%
④ 中部	8	3.5%
⑤ 近畿	18	8.0%
⑥ 中国	18	8.0%
⑦ 九州・沖縄	6	2.7%
⑧ 北海道	0	0.0%
計	226	100.0%

職種

	度数	割合
① 教員	73	32.7%
② 職員	146	65.5%
③ 学生	2	0.9%
④ その他	2	0.9%
計	223	100.0%

その他の記述内容
・ 研究員(2)

あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	35	15.6%
② SDの実施担当者	15	6.7%
③ FDとSD両方の実施担当者	8	3.6%
④ FDやSDの実施担当者ではない	166	74.1%
計	224	100.0%

SPODフォーラムに参加して良かったと思われる点

【意識・考え方の変化, 向上】

- 非常勤という立場上他教員と交わることが今まではなかった。教員として働いておられる方の現状や授業への取り組みを聞くことができ自分の課題が見えてきた。同様の内容を教えておられる大学の専任教員の方との情報交換の場を持っていただけるよう教務に働きかけをする予定である。
- ティーチングポートフォリオのミニワークを体験し, 自分の理念や実践したことを整理できたこと。
- 他学部や他業種の人と一緒に受講する事で考え方の幅が広がった。
- 日頃あまり意識していなかったことを改めて意識することができるきっかけとなりました。
- 自分が仕事をしている目的, 自分の仕事に対する意識を見直す機会になった。
- 1度の研修の中でさまざまな視点で講義や議論に参加することができ, かつ多様でありながらも似た問題意識をもった方々と参加できたことで, 知識の獲得, 自身の考え方の見直しとともに, 自身の業務のモチベーションの向上につながった。
- 視野が広がり, 1つの課題に対しての考え方・方法がいろいろとあると感じた。
- 意欲を持って積極的に参加している参加者に刺激を受けた。(2)
- 新たな視点を持つことができた。(3)

【知識・スキルの修得】

- 授業向上等にかんする具体的な事例・手法等の知識・技術等がふえた。
- 自分にとっての新知見が得られ, 今後の講義の取り組みに参考になった。
- 具体的に講義の進め方等を学べて良かった。
- ティーチング・ポートフォリオや授業検討会の方法などを学ぶことができた点。個人的には, 様々なFDの取り組みを有機的に捉える視座を得ることができた。
- わが国の高等教育の現状を知ることができた点。
- 授業で実際に使えそうな手法をいくつか知ることができました。
- 会議マネジメントに参加しましたが, 調整型リーダーシップ能力を高めることが, その組織を高めることを学びました。
- 臨床現場(病院)から教育現場へ来たばかりでいろいろ戸惑うことも多い中, フォーラムでは貴重な意見を聞くことができた。
- ティーチングポートフォリオや学習ポートフォリオについて, 新しい知見を得ることができ, 大変刺激を受けました。毎年, このような刺激を受けることができ, 感謝しています。また参加しますので, よろしく願いいたします。
- フォーラムの存在を知ったのが遅かったので, 締切後に入れていただきましたが, とても勉強になりました。次回は前もってプログラムを吟味して選び参加したいと思います。
- これまで知らなかった教育手法(ループリックなど)を知ることができた。
- 実践的な学習方法や参加者同士の意見交換という学習形式により多くの教授法のアイデアを学ぶことができ, 役に立った。
- 少人数のグループワークにより, 参加者一人ひとりが積極的に参加することができました。これにより, 自分の教育方法の欠点に気づくことができ, 一方で, 自分が現在行っている方法の妥当性も

分かりました。

- FDに関する新しい色々な情報を得ることが出来ていつも勉強になります。学んだことを自分の大学に合うように整理して、学内の教職員に伝えています。
- 普段の講義で疑問に思っていたこと、悩んでいたことに講師の先生から一つの回答を頂けたことが参考になりました。四国ではこのような活動に力を入れられていることが分かり、また多くの先生方とお話が出来たことも大変よかったです。有難うございました。
- 聞いたことはあるが、具体的に知らない内容をワークショップの形式で経験できるのはとてもありがたいです。
- 新たな知識・技術が身に付いたと思う
- 断片的だった知識を整理する機会になった。
- 発達障害の生徒に対する講義は普段聞くことのないもので、とても勉強になりました。講師の先生もわかりやすく、そしてこの障害に対して前向きな話し方は好印象でした。こういった生徒に対する自分の姿勢が講義に触れることで、少しまっすぐに向いた感じです。
- FD, SDに関する取組みの現状を認識できる。
- 大学組織、業務に関するスキルを身につけることは極めて重要。そんなスキルを学ぶ場として、とても良かったと思います。
- いろいろな教育手法を学ぶことができた。
- 講義の質を向上させることができる内容のプログラムを受けられてよかった。今後の講義に活用できるような内容を考えていきたい。また、研究室の運営に関わっていくうえで必要なことを学べたと思う。
- 国公立の大学などを問わず、いろいろな方とお話することは大変経験になります。また、自分の至らなさや勉強不足も痛感しておりますので、また勉強しなければならないと思ういい契機となっています。
- 実践的なプログラムであって、その後の自分の業務の上でとても参考になりました。参加して大変有意義でよかったと思っております。
- 中堅職員として必要な能力について、理論的背景と実践演習の両面から学ぶ機会を得られたこと。
- 授業研究会を導入するにあたって、具体的なイメージをつかむことができたため、非常に大きな収穫でした。
- 大学職員として、業務を通して高めた方が好ましいスキル等を教えて頂いた。
- シンポジウムでの金沢工大の藤本先生のお話は具体的で、導入を検討している本学においては大変参考になった。栗田先生のティーチング・ポートフォリオ等についても今後、本学において広めるための参考になった。
- 研修を受けたことによって知識が広がった。(3)
- 手早く業務効率を上げるノウハウを得られたことです。
- 講習を受けるまで疑問に思っていたり悩んでいたりが解消され、これからの業務に役立てることができる内容でとてもよかった。
- 考えていたよりも、ポートフォリオの作成が難しいことがわかった。
- 短期間で様々なセミナーを受講することができ、色々な分野に関する知識を習得することができたので良かった。
- すぐにでも業務に取り入れることができる実践的な内容について学ぶことができたこと。他大学

の方とのワークでいろいろな経験や考え方を聞くことができたこと。

- まさに今、自分が担当している業務にかかる内容のことが研修プログラムとして組み立てられており、このたび参加して大変参考になった。
- 報連相に関する講座を受講しましたが、日常業務に密接に関係ある事項だったので、学んだことが普通の業務に生かせる点がよかったです。
- 自分が抱えている問題点が具体化されたことです。それにより、業務において早速改善された部分があります。
- 斬新なキャリアアップの内容を知ることができた。日々の業務に対して視野の広い考え方が必要だと実感した。
- ポートフォリオを導入していく上で、とても参考になるお話を伺うことができました。ありがとうございました。

【人脈の拡大、情報の交換】

- 他大学の教職員の方と、お互いの知見を共有したり、情報交換ができること。
- 同じような悩みを他の教員も持っていることがわかった点
- 四国外の熱心な教員や職員さんに関わる機会がもてたこと。
- ポートフォリオや授業評価アンケートの他大学の取り組みや現状を拝聴できた。
- 他大学での取り組みを聞くことができ、参考になった。
- 優れた他大学の経営手法を本人から聞いた。
- 導入事例と導入までの苦労などをお伺いすることができてよかった。
- 他大学の方との交流で様々な問題等を共有できたこと。
- 他の大学の職員の方の意見を聞くことができ、刺激を受けた。
- 他大学・同大学問わず、業務外で仕事に関わる意見交換ができることは大変有意義です。周りとの仲間意識も、自身のモチベーションも上がりました。
- 全国から大学職員が集まっているので、横のつながり（人的ネットワーク）を広げる方法としてとても有効だと思います。
- 各種プログラムの種類が豊富で充実している。また、愛媛県内のフォーラムでありながら全国から参加者があるのでお互いの情報交換の場になっておりとても有意義である。
- 他大学の方と一緒にワークができ、交流が深められたこと。
- 四国内外他大学の職員と一緒にグループワークをすることによって、他大学について知ることが出来た。
- 他大学の事例を聞くことができ、人脈ができたこと（21）
- 他学校の教育現場のことを聞くことができるのはうれしい。色々実践してみたいことや、できたらいいなあと思える。
- グループディスカッションを通して他大学の取組について知ることができたこと
- 四国内だけではなく、様々な大学の教職員と共に研修を受けられる点。他の大学の現状はとても興味深いものがあるし、なにより意欲のある人たちが集まっているので、よい刺激を受けられる。講義はもちろんのこと、それ以外の場でも学ばせてもらっている。
- 教職員の能力開発に対する意識の高い参加者と交流できるので良い刺激が得られる。知識が豊かになる。

- 大学種別・設置者・所在地が様々な参加者から、いろいろな視点で今の学生の姿を聞くことができました。自大学の窓口で見られる姿だけが、学生の現実ではないことを再認識しました。
- ワークショップ、グループワークは講師のお話だけでなく、参加者の考えを聞くことができ、大変参考になりました。フォーラムを通して、他大学の方と交流できたことが何よりも収穫でした。
- 全国規模で多くの大学の教職員が参加されているので、多局面での情報交換ができた。また、国立、公立、私立大学間での情報交換をすることで、多くの特質や事情がわかった。
- 多くの教職員の方々とお会いすることができた点です。しかもどの講座もグループでの活動が取り入れられていたため、ただ顔合わせさせていただきただけでなく、様々な情報や意見を聞くことができました。また初心者(初学者)でも参加しやすい雰囲気だったのがありがたかったです。
- 他大学のカラーや雰囲気を感じる事ができた。

【プログラム内容】

- 志を同じくする教職員が参加するフォーラムなので、それなりに高いレベルでチームとして取り組むことができ、自らの教育に対する取組姿勢を再確認する良い機会となった。与えられた課題に十分に対応するのが難儀な場合もあるが、フォーラムの緊張感を保持する意味では欠かせない要素である。
- 教育改善の生きた事例を直接知ることが出来、疑問点なども質問できる。
- 授業改善に直接関わることが多くあった点。
- 対話型、参加型のスタイルに参加者として参加できた経験が良かった。
- 今回のフォーラムでも、すべてのプログラムは満足感の高いものでした。特に挙げるとすれば、徳島大学の坂田先生のお話は興味深いものでした。英語の授業でいわゆる「授業」をせずに、学生に学び方を学ばせるというのは、小生の勤務する大学の英語の先生も同じように到達したお考えでした。
- 伺った話の内容はもちろんですが、応用ができるワークショップ的な内容も多くあって、たいへん有意義でした。
- 研修内容がどれも充実していて、大変勉強になりました。
- 発達障害をテーマに初めて開催されたこと。
- 自分に必要な知識、スキルを身につけられ、人脈も広がりますし、日常業務から離れてそれぞれのテーマに集中できるのも良い点だと思います。
- FD、SDの取り組み規模の大きさを実感することができた。
- 分野ごとに細かく分かれていて、自分が受講したいテーマをピンポイントで選ぶことができよかった。その結果必要な知識を効率的に得ることができたと思います。
- 金沢工業大学の学長の講演に感銘を受けた。
- 講師の先生方のお話がとても分かりやすく時間があっという間に過ぎた感じがしました。
- フォーラムには、大学を取り巻く環境の変化に対応したプログラムが取り入れられており、そのような旬のプログラムが受講できて良かった。
- プログラムが、講義時間に見合った内容で行われていたため受講していて何のためにこのプログラムを受講しているか見失わずに、講義に集中できました。
- 業務において、これから職員として多くの状況対応が求められる内容のプログラムであったので、心がまえや対処のノウハウ、状況に応じた部署の連携などの参考になった。

- 本学でも取り組始めた段階であり、タイミングとしては最高であった。
- 指導と評価の一体化として、今回の研修内容は良かったと思う。また、初年次教育においても、種々応用のできる内容であった。形成的評価などをとり入れることで、学生のやる気も生まれるかもしれない。ただ、ここには個人としての努力が必要ではある。
- 長時間の講座でしたがとても充実した研修を受けることができました。なぜなぜワーク？を取り入れ問題解決に近づくように努力しているところです。ぜひ次回もフォーラムに参加したいと思います。
- ワークショップが多く、積極的に取り組む事ができました。
- 日頃の業務にいかせる点。

【その他】

- 業務都合で、1日しか参加できなかつたので、もっと参加したいと欲が出る面がありますが、非常に有意義な研修でした。
- 昨年から参加させていただいています。
- 今まで事務オンリーのもののみ参加していたが、今回FD・SD一緒に開催のものを一部受講した。教員と同じテーマで、内容も少し高度になるので、その分充実していたと思う。事務にとっては、FDとあわせてすることにも意味があると感じた。
- 興味のある分野での講義を受けれた点。
- 昨年より参加をさせていただいているが自分の大学にいただけでは視野が狭くなり独自の路線を基準として持ってしまうことを懸念している。特に本学は地方の公立大学であり、国公立を含める他大学との交流が少ないため大学の在り方としても独自路線を進みがちなのでSPODのような公に開かれた機会を積極的に利用していきたい。
- SPODには非常に参加意識の高い人たちが参加するため、互いの刺激になってよかったです。また、講師自身が楽しそうにしており、視線を受講者に合せてくれており、研修環境としても居心地がよかったです。よって、研修ナレしていない方でも気軽に参加可能な印象を受けました。
- 今の自分に必要なのは、専門知識と交渉力だと思っています。
- 今回、SDに係る部分を重点的に参加させていただきました。

SPODフォーラム自由記述欄 改善点とりまとめ

【日程について】

- 参加したいプログラムの時間が重なってしまい、どちらか片方にしか参加できないこと。もし可能ならば、終了後、SPOD参加者が他のプログラムを視聴できるような機会があればと毎回感じています。
- 開催が夏休み期間中の平日なのは参加しやすいです。
- プログラムが多いので開催日程が4日間になるのはやむをえないかもしれませんが、少し長いように思います。
- 夏休み等学生の授業期間外は卒研・修論指導が最も重点的に行える貴重な時期ですので、できれば通常の授業期間内にも開催してほしいと思います。
- 8月お盆明けはよく考えたら、今の職はけっこう忙しいので、SPODフォーラムに深く関わるには日程的にかなりきついと改めて感じております。他の行事をずらしたりするしかないかと思われれます。
- 時期は、お盆明けの20日以降が良い。
- 9月や冬の開催はいかがでしょうか。恐ろしく暑かったので・・・。
- 夏が比較的暇な部署ですので、今回のように夏季（8月）に開催していただけるとありがたいです。
- 4日間の開催は大変だと思いますが、可能であれば続けていただきたい。
- 自主的に参加できるものとはいえ、4日間というのはいささか長すぎる気がしました。

【会場について】

- 初めてのせいか、場所を勘違いして間違えたり、会場の建物に辿り着いても部屋の案内がなく迷ったことがありました。（これはフォーラムではない講座かもしれません。混同しておりますのですみません）
- 会場は愛媛大学を希望する。
- 愛媛大学での開催は、ホテル・交通など非常に便利だと感じました。
- 共通教育の校舎では、エアコンの風向きが下向きだったのか、とても寒い場所があった。
- 愛媛だと道後温泉に宿泊できるのがありがたい。
- 会場は、できる限り公共交通機関を利用しやすい施設にしていきたい。
- 中国地方から参加したので、愛媛大学での開催は利便性が高かったです。
- 愛媛大学さんで、ほぼ毎年フォーラムを開催されていると思いますが、とてもよかったです。これからも愛媛大学さんで開催されたら、ぜひ今後も参加したいです。宿泊先にも困ることがなく、よい場所だと思われれます。他の四国地域は、大規模なセミナーがあると宿泊先確保にいつも困ります。
- 四国以外の会場（出張？）もあるといいと思いますが、ムリですね。すみません。

【プログラム内容及び構成について】

- たとえば、大学教員で言えば、そのキャリア形成（新任・若手・中堅・ベテラン、私立／国立など）のプロセスに合わせて、お薦めのプログラム例を示してもらいたい（あるかもしれませんが）とありがたいです。
- セッションが内容盛りだくさんになっている場合があるので、消化不良で終わってしまったものもあります。そのようなものについては、論点をしぼった方がよいように思われれます。
- 教育理論の方からのお話が多く、それはそれで参考になったのですが、具体的な事例をもっと聞きたいと思いました。あるいは、参加者が実際に実践している事例を話して、それについて講師を含

め議論するような場があったらよかったですと思いました。

- よい面ばかりが取り上げられて、あたかも悪い面が「一切ない」ように感じられる。また、グループワークが多すぎる。グループワークを体感するのは構わないが、毎度同じやり方で、同じメンツでは、飽きてしまう。ここでも、大人同士のグループワークなので、よどみなく物事が進行し、参加者全員、会場の雰囲気は満足しているようになっているが、学生相手ではそうはいかないと思う。この部分は、改善してほしい。
- 聞きたい研修が時間的に重なっていることがあり、残念でした。人気の高い研修は、日にちをずらしてリピートしてもらえると受けられようになるかもしれません。
- 関心のある講義が重なっていたのが残念だった。受けられなかった講義のフォローが何かしらであればいいなと思いました。
- ただ、内容的に毎年同じものを行っている、というところがあるのではないのでしょうか。やや、プログラムの内容がマンネリ気味になっている部分があるように思いました。
- 他の障害学生修学支援に向けたテーマを取り入れていただくこと。
- 今回、複数受講しました。残念ながら「●●●●●」では、得られたものが少なく感じられました。●名の講師の役割と流れが不明瞭でした。
- プログラムによってはあまり効果的でないと感じるものもあったので、90分という限られた時間の中でも価値がある内容かどうかを再検討して頂くと、全体としてよりよいフォーラムになるのではないかと思います。
- 職員対象に民間企業の優れた運営担当者が行う、運営に特化する講義を行っていただきたい。私も民間にいたので痛感するが、売上などの法人の努力でお金を稼いで支出をしているわけではないので(外部資金は除く)コスト意識がわりあい低く、教育という部分のみが際立って先行し法人(いわゆる企業)としての運営が置き去りにされているのではないかと感じる。
- SPODへは初めての参加でしたが、自由にプログラムを選択でき、選択するプログラムの幅も広がったため、非常に受講しやすい研修であると感じました。
- ランチセッションについて、チラシの表記が分かりにくい。参加したい人だけが参加するものか、ランチセッション込みのプログラムだということが分かるように表示をするか、説明書きを加えるかしていただけると、事前にお弁当の準備・心の準備ができるのでありがたいです。
- 初年次教育など、今注目されている評価等に目を向けていただけると良いと思う。今回も、山田准教授の研修は良かった。次回はもっと具体的に実践したことをとり入れていただけると有難い。
- 地域性や学生数別も考慮した講座があってもいいと思う。
- 授業向上等に関する事例・手法等の教育効果についての、実証・検証データを示してほしい。
- 社会連携プログラム
- 全体的に時間が短かったです。
- シンポジウム「ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？」について、場の雰囲気は良かったが、事例紹介が別個のポートフォリオであったためにメリット・デメリットの比較をすることができず、またパネリスト同士の討論結果もセンセーショナルなタイトルに反し「質向上に貢献できる」であっさり完結してしまったことに不満。

【その他】

- 今回は現状のプログラムで十分(隣接校)と感じるが、他県で開催する場合には出張費用等の確保が必要となるでしょう
- 参加したのは1つで半日間の講義であったが、それ以上参加することは困難と思っている。
- 新たな参加者を確保すべく、経験の浅い教職員を対象としたアピールはあっても良いが、助教の

参加率（占有率）が高すぎた印象がある。参加者の1人が欠席となったテーブルに助教2名と自分だけという状況に置かれたが、経験の浅い助教2名との意見交換はバランスに欠け、少々辛いものがあった。

- メインのシンポジウムの定員を増やしてほしい。
- グループメンバーを所属別に予め決めておいてもらおうと、色々な方と関わりになれると思う
- 既に満杯のコースであっても、キャンセルなどで「空き」ができれば参加できるような柔軟性があってもよい。
- 初めての参加だったからかもしれませんが、それぞれの内容が、どのようなものであるか、事前の案内だけではよく理解できず、ただ、タイトルだけで選択せざるを得なかった。この点の配慮を御願いたい。
- 前年度の同名講座で使用された資料を公開いただくと、講座選択に大きく資する。
- 現状で特に問題ないと思います。
- 自動車での乗り入れを許可していただきたい
- このアンケート実施が遅すぎる。その日ならもっと記入できることが、時間の経過と共に記憶が薄れて行き、書くことができない。
- 一つ一つのコマのスケジュールを最初に共有していただきたいと思いました。
- 夏に本研修があり、冬にフォローアップ研修などがあれば、フォーラムで得た知識やスキルを所属組織で実際に活用しているかの確認や、それに向けた報告事例なども収集できて、互いにとって良いかもしれません。
- 前もって科目アンケートに記載したことは生かされていただろうか？
- 他機関の方との情報交換ができる時間がもう少しあれば、講習とは別に得られるものも多くなるのではないかと思う。
- SPODフォーラムには、通常のSPODの「集中講義」と、SPODの活動を広く知らせるための「オープンキャンパス」との二重の役割があることで、通常のSPOD内部でのプログラム運営と異なる困難があるのではないかと推察します。そのため、プログラムによっては、内容を詰め込まず、グループワークの時間が限られるなど、消化不良感を生んでしまうこともあるのではないのでしょうか。
- 今回、構内へ車の乗り入れが出来ませんでしたでしたが、隣に松山大学さんもありますので、どちらかの大学を駐車場として利用出来ないのでしょうか。
- 受講希望の研修が定員オーバーで参加できないことがあった。
- スペースの問題なのですが、休憩所がもう少し広いと助かるかな、と思いました。夏の暑さですから、ちょっとでもリラックスできる場所があると嬉しいものかと。日程は、今のような8月後半以外は設定しづらいのではないのでしょうか。会場は、四国の大学の持ち回り、でよろしいかと思いません。
- 開催時期・開催地も都合が付けやすく、続けていただきたい。

SPODフォーラムで開講してほしい研修プログラム

【FD/S D】

- I Rについては、継続的に研修を開催していただけると有難いと思います。また、反転授業についてもさらに研修の機会があればよいかと思ひます。その点、高知大学の立川先生のプログラムは大変参考になりました。
- 発達障害等の学生への支援について、組織としての支援体制のつくりかたと、個人としての教職員の対応のしかたの、両方について、現に大学でそういった仕事に携わっているソーシャルワーカー・臨床心理士などの方の、具体的な話を聞きたい。
- 中村文子さんの講座を、またぜひお願いします。
- 発達障害のある学生への対処法のプログラムは開講されている。しかし、発達障害ではないが、正常者との中間に位置する学生が意外といる。この学生に対しては通常の教育では通じにくいところがある。このような学生に対する教育方法の研修をお願いしたい。
- アクティブラーニングや e-learning において、比較的容易に導入可能な実践事例に関する研修があるとありがたいです。
- 企業の方や官庁の方を招いたセミナー、大学以外の世界の動向と、大学に外部から何が求められているかについて。
- ワールドカフェ方式
- I Rのアンケート内容と分析方法について。
- 優秀な学生の育て方
- I Rは極めて重要。来年もいろいろな I Rのプログラムが開講されることを期待します。
- I Rに関わる研修を受けたのですが、できればEMに関するものがあればまた参加したいです。
- P D C A サイクルを修得できるプログラム
- 「コミュニケーション力養成講座（タイプ別、上手な接し方の基本講座）」
- 学生指導や学生相談は大変興味のあることなので、学生支援に関する研修会を実施してほしい。
- F D と S D が混在しているプログラム
- 入門編として、ロジカルシンキングについて、取り上げていただきたいです。
- 「研修の体系化について」
- こんなときどうする？職場内トラブル！！
- P C プログラム
- 中退対策や先進的な大学改革に取り組んでおられる事例など、現在の大学を取り巻く環境の変化に対応したプログラムを継続していただきたい。
- 昨今、企業等の人材マネジメントでは、「組織学習」「職場での学び」「大人の学び」「経営学習」などのキーワードで、働くことと学ぶことの密接な結びつきが注目されています。我々高等教育機関の教職員にも職場の学びがあるという観点と、そもそも学校での学びには学校を出た後の学びの準備が含まれるという観点から、「生涯にわたる学び」や「キャリアデザイン」に関するプログラムの開講を検討されてはいかがでしょうか。
- 最新の文教政策の状況に関する研修。
- I R や学生調査の分析法などを希望します。

- タイムマネジメントのように、日常業務の中で即、業務改善に役立ったり自己啓発となったりするようなもの

【FD】

- 単なる教育方法ではなく、教育目的や理念、学習理論などをベースにしたワークショップや講義
- フレッシュマンセミナーの進め方。特に、社会科学系学部におけるスタディ・スキルの教え方。
- 文系学部と医療系学部では、授業での問題点など相違があると感じる。医療系学部を対象としたFDフォーラムがあれば参加したい。
- 学生の基礎学力の低下が気になっています。大学入学後に、高等学校レベルの基礎科目を設定せざるをえません。形式や表面的なことではなく、中高等学校との有効な教育連携の方策を検討することはできませんでしょうか。
- 実験演習や演習形態に関しての講義方法を教えてほしい。
- TBLについて、課題作成ワークショップ。
- 着任間もない教職員が最初に受けると良い研修プログラムがもう少しあっても良いように思う。リピーターを募って、フォーラム全体のレベルを上げていくことも大事だが、新参者に加わってもらうこともまた大切である。しかし、これらを上手く仕分けしたり、抱き合わせたりする工夫が求められている。
- ポートフォリオ導入に関する注意事項などについて。学部などによる違いをどのようにして乗り越えたか。
- 正しい名前は忘れてしまったが、理系の講義でも有効な授業方法があると聞いた。それをまたやってほしい。
- 新任教員に対して、理解しやすいものを設けていただけると良いと思う。入門編でもよいので、参加しやすい講座を設けていただきたい。
- 学修成果の到達度の測定手法について、さらに多面的な手法があれば、是非紹介していただきたい。

【SD】

- スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップについて複数の開講枠を設定いただきたい。
- 来月末の国際連携系職員養成プログラムを待っていました。
- 広報業務・教務業務などといった職員に特化したより具体的な内容のプログラムがあると思います。
- 特に職員の窓口対応に限定されるかもしれないが、学校特有のクレーム（保護者・学生・近隣住民からの苦情対応）に対応するスキルを学ぶ講座があれば、ぜひ受けたい。
- 教務課職員対象研修
- 大学職員のための英語講座
- プログラム全体への希望
- 新しいものを紹介していただければ。
- フォーラムの振り返りのグループワークなどがあるとなおいいと思った。
- 年齢別（6歳区切りぐらいでやっていただけたら）ワークショップ
- 過去に好評だったプログラムを再開講してほしい。
- ケーススタディが中心のために、もう少し理論科目があると、より頭の整理に有用な気がします。

- 泊まりがけのプログラムがあったら楽しそうですね。

【その他】

- コンソーシアム内外の講師, ジャンル共にバランスが非常によくとれていたと思います。今のよう
な内容で每期新たな知見を更新していただけると幸いです。
- 初めて研修会へ参加させていただいたので, 次年度以降も他の研修会にも出席したいと思います。

SPODの事業全般についてご意見やご要望

【フォーラム全体について】

- 改善点のところでも書きましたが、参加しなかったのにできなかったプログラムの「講義部分だけでも」視聴できる機会があればと存じます。
- FDに関心をもつ若手教員同士の交流の場、FDの全体計画を気軽に話すことのできる場があれば、よいと思いました。
- 大学職員の参加が多いように思われましたが、もっと大学教員の参加者が多くなるようなセッションを増やしてほしいと思います。
- 全ての講義でグループワークがあり、飽きてしまった。その時間を利用してもっといろいろ学ぶ時間が持てたように思う。
- 全てのプログラムに参加はできませんので、自分が参加させていただいたプログラムのみでの感想ですが、手持ちの資料なしでの、パワーポイントで解説のみのプログラム内容も一部ありました。（若手研修）レジュメはのちの報告書作成や、自分の受講内容のフィードバックにも役立つので、必ず簡単でよいので、発表者それぞれ用意していただきたいです。

【運営について】

- 初めて参加しましたが、スムーズな運営に感心しました。徹底した準備や講師との打ち合わせがなされていたんだと感心しました。お疲れ様でした。
- 人気の講義はビデオ、CD化して、各学校に配布してはどうでしょうか？
- 実際に参加したものだけに参加費用を請求する仕組みは、まわりでは余り見ないが、非常に良いものであると思う。
- 興味のあるプログラムが同じ時間に開講されていたりしたので、また来年も参加したいと思うが、来年度の予定など決まっていることがあったら早めに知りたいです。
- いつも行き届いた運営をされていると感じています。
- 5年前と比べると研修内容が増えており、選択肢が増えるのはいいと思う。
- 会場の誘導案内が小さく、分かりにくかったように感じました。
- 受講者とスタッフが一目分かりづらい。
- 受け付けや事務的なこともきちんとされていると思いました。
- 担当のスタッフの方々にはいつも大変お世話になっています。気持ちよく対応してくださり、感謝しています。

【今後への期待】

- ほかの全国でおこなわれているFD関連事業のなかでも、レベルが高く充実している内容だと思う。ひきつづき充実した内容での開催をお願いいたします。
- 四国外からの参加者も多く、運営がとても大変だろうが、規模を縮小することなく、今後も展開していってもらえると良いと思う。
- たいへんでしょうが、ぜひ継続していただきますよう、お願いします。
- 全国規模で行えるようにしていただければ助かります。
- すばらしい取り組みで、四国地区以外の方と話しても、すごく評価されているので、これからも継

続して四国地区で開催していく取り組みであると実感しました。できれば、SPOD加盟校で私立大学との連携をもっとできればいいと個人的には感じています・

- スタッフ・ポートフォリオの取組みについて今後とも全国的な普及活動を続けていただきたい。
- 今後も、発達障害のニーズは高いので、継続していただきたい。
- 今後も楽しみに参加させていただきます
- 四国内のみならず、他の地域の組織と連携し、SPOD事業がさらに発展することを望んでいます。
- SPODで蓄積されたFD・SDの取組みは、学協会で行われている個人ベースのそれと異なり、実践とリフレクションが組織的に実行されてきた点で、「四国地区発の全国標準」となりうるのではないかと考えております。

【その他】

- 毎年ご尽力くださいます、誠に有難く存じております。もちろん来年度も参加させていただくつもりです。お世話になりっぱなしで恐縮ですが。
- 正規の教員になってはじめてこういう場があることを知ったのですが、非常勤としてはじめて教鞭をとり、全くの手探り状態だったときにこういう情報を知っていたらよかったのに、と思いました。
- これからも、推進させるよう皆様のご尽力をお願いいたします。
- SPODとテニュアトラックの関係がよくわからなかった。
- とりあえず満足している。
- 本校教員を対象とした学内で実施するFD研修の講師の方を毎年探しております。現在は、個別にお願いをしておりますが、講師派遣(人選等)についてSPODの事務局の方にご相談させていただけると大変助かります。
- 無駄がなくいいです。
- 一定の経験をしている職員にとって研修は、「学び直しの機会」だと思います。問題意識の強い方、交流する機会を求めて自発的に行動する方は参加すると思いますが、問題意識と捉えていない方、参加する意欲の低い方に参加してもらえる方策があれば、働きかけていただきたいです。
- 3日間という長丁場にこれだけ細かく組まれたプログラムを行うには大変な労力が必要かと思えます。
- 国立大学は法人化され、公務員ではなくなったとはいえ、現在でも色濃く公務員意識が残っているのが現状だろう。もちろん、この組織の全てを否定すべきではないが、事なかれ主義的な職場では、大学職員にあこがれて大学に就職するこれからの後輩たちに失礼である。
- 非常に「お得」なプログラムで参加し甲斐のある内容でした。運営にあられるみなさんのご苦労も多いものと思います。貴重な機会をありがとうございました。
- 講座を開講していただいた先生方をはじめ、メールや受付等で対応してくださった方々、グループで一緒させていただいた方々のお世話になりまして、大変有意義な日を過ごすことができました。ありがとうございました。

SPODフォーラム2013参加者からの要望等について

■開催時期／期間について

- ・日程は、今のような8月後半以外は設定しづらいのではないのでしょうか。
- ・時期は、お盆明けの20日以降が良い。
- ・開催が夏休み期間中の平日なのは参加しやすいです。
- ・夏休み等学生の授業期間外は卒研・修論指導が最も重点的に行える貴重な時期ですので、できれば通常の授業期間内にも開催してほしいと思います。
- ・プログラムが多いので開催日程が4日間になるのはやむをえないかもしれませんが、少し長いように思います。
- ・開催時期・開催地も都合が付けやすく、続けていただきたい。

対応

過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏季休業中の平日に開催する。なお、来年度は高知大学で8月27日（水）～29日（金）の3日間で開催する予定である。

■開催会場について

- ・会場は、四国の大学の持ち回り、でよろしいかと思えます。
- ・会場は、できる限り公共交通機関を利用しやすい施設にしていきたい。
- ・中国地方から参加したので、愛媛大学での開催は利便性が高かったです。

対応

昨年度徳島大学で開催したところ、新たな参加者の獲得に繋がったことから、各校の規模やマンパワー等の事情を考慮しながら四国内持ち回り開催について引き続き検討する。なお、来年度は高知大学での開催を予定している。

■広報活動について

- ・興味のあるプログラムが同じ時間に開講されていたりしたので、また来年も参加したいと思うが、来年度の予定など決まっていることがあったら早めに知りたいです。

対応

メールマガジン登録者には既に次回フォーラムの開催日程を通知しているが、例年、4月に開催日程をSPODのHPで通知し、具体的なプログラムについては6月にSPODのHPやチラシで案内している。また、SPOD加盟校内においては、関連会議等を通じて案内しているが、情報が確定次第、速やかに案内していく。

■プログラム内容の事前周知について

- ・初めての参加だったからかもしれませんが、それぞれの内容が、どのようなものであるか、事前の案内だけではよく理解できず、ただ、タイトルだけで選択せざるを得なかった。
- ・大学教員で言えば、そのキャリア形成（新任・若手・中堅・ベテラン、私立／国立など）のプロセスに合わせて、お薦めのプログラム例を示してもらおう（あるかもしれませんが）とありがたいです。
- ・前年度の同名講座で使用された資料を公開いただくと、講座選択に大きく資する。
- ・ランチセッションについて、チラシの表記が分かりにくい。参加したい人だけが参加するものだと思っていた。

対応

- ・従来から各プログラムのシラバスを申込みHPで公開していることに加え、今年度はプログラム冊子版のシラバスもPDFで掲載したが、依然として同様の要望が寄せられている。次回以降、HPのシラバスにアクセスするQRコードをチラシに追加する等、プログラム選択時にシラバスを確認していただくよう案内を更に工夫する。
- ・過去のフォーラムにおいて講師の承諾を得たプログラムの資料については、SPODのHPに掲載している。申込み画面にリンクを貼る等、プログラムの選択時に参考としていただけるようわかりやすく掲載する。
- ・ランチセッションの構成及び内容について、講師に一任していたため、案内が不明瞭だった。次回以降、ランチセッション又はそれに代わる交流の場としてのプログラムを実施する場合は、受講者へわかりやすく案内する。

■参加者間の交流について

- ・他機関の方との情報交換ができる時間がもう少しあれば、講習とは別に得られるものも多くなるのではないかと思う。
- ・FDに関心をもつ若手教員同士の交流の場、FDの全体計画を気軽に話すことのできる場があれば、よいと思いました。

対応

- ・例年、参加者相互の交流を図ることを目的として、リフレッシュルームの設置や懇親会の開催のほか、ラウンドテーブル、ランチオンセミナーや連続受講プログラムを設ける等、色々工夫しているところであるが、上記で指摘されたように案内が不明瞭だったため、講師及び受講者にその意図が十分に伝わっていなかった。今後は各種取組について、参加者にその意義を含めて周知し、交流の促進を図る。
- ・来年度以降、ポスターセッションを含め、参加者間の交流を図る新しい企画についても検討する。

■プログラム構成について

- ・参加したいプログラムの時間が重なってしまい、どちらか片方にしか参加できないこと。
- ・聞きたい研修が時間的に重なっていることがあり、残念でした。人気の高い研修は、日にちをずらしてリピートしてもらえると受けられようになるかもしれません。
- ・SPODフォーラムには、通常のSPODの「集中講義」と、SPODの活動を広く知らせるための「オープンキャンパス」との二重の役割があることで、通常のSPOD内部でのプログラム運営と異なる困難があるのではないかと推察します。そのため、プログラムによっては、内容を詰め込まざるをえず、グループワークの時間が限られるなど、消化不良感を生んでしまうこともあるのではないのでしょうか。
- ・セッションが内容盛りだくさんになっている場合があるので、消化不良で終わってしまったものもあります。そのようなものについては、論点をしぼった方がよいように思われます。
- ・着任間もない教職員が最初に受けると良い研修プログラムがもう少しあっても良いように思う。リピーターを募って、フォーラム全体のレベルを上げていくことも大事だが、新参加者に加わってもらうこともまた大切である。
- ・大学職員の参加が多いように思われましたが、もっと大学教員の参加者が多くなるようなセッションを増やしてほしいと思います。
- ・内容的に毎年同じものを行っている、というところがあるのではないのでしょうか。やや、プログラムの内容がマンネリ気味になっている部分があるように思いました。
- ・プログラムによってはあまり効果的でないと感じるものもあったので、90分という限られた時間の中でも価値がある内容かどうかを再検討して頂くと、全体としてよりよいフォーラムになるのではないかと思います。

対応

- ・プログラムの内容を考慮し、受講対象者が重複すると推測されるプログラムについて、同時刻の実施を避ける等、バランスのとれたスケジュールに留意する。
- ・フォーラムはこれまで5回開催しており、全体的に好評を得ているが、プログラム構成について賛否様々なご意見をいただいている。各プログラムの内容及びレベル設定については、今年度設置される将来構想ワーキンググループの中でいただいたご意見を踏まえて検討していく。
- ・各プログラムの内容については、マンネリ化を防ぐため、時代のニーズに沿う新たなプログラムを開発している。その一方で人気の高いプログラムについては2年以上開講することとしており、リピーターの確保に繋げている。
- ・新たな参加者の獲得については、魅力的なプログラムの開発等、事務局でも努力しているところであるが、参加者の方にも各職場等において、フォーラムへの参加案内にご協力いただきたい。
- ・その他、アンケート集計結果や受講者のニーズに沿うプログラムの提供に止まらず、他のネットワークや外部機関等と連携しての開催等新たな取組も検討していく。

■プログラムの進行・運営について

- ・グループワークが多すぎる。グループワークを体感するのは構わないが、毎度同じやり方で、同じメンツでは、飽きてしまう。
- ・全ての講義でグループワークがあり、飽きてしまった。その時間を利用してもっといろいろ学ぶ時間が持てたように思う。
- ・グループメンバーを所属別に予め決めておいてもらえると、色々な方と関わりになれると思う。
- ・一つ一つのコマのスケジュールを最初に共有していただきたいと思いました。
- ・全てのプログラムに参加はできませんので、自分が参加させていただいたプログラムのみでの感想ですが、手持ちの資料なしでの、パワーポイントで解説のみのプログラム内容も一部ありました。(若手研修) レジューメはのちの報告書作成や、自分の受講内容のフィードバックにも役立つので、必ず簡単でよいので、発表者それぞれ用意していただきたいです。
- ・今回、複数受講しました。残念ながら「●●●●」では、得られたものが少なく感じられました。

対応

- ・SPODフォーラムでは、ワークショップ形式の実践的なプログラムを多数提供している。この特質は、SPODフォーラムの目的の一つである参加者の相互交流にも繋がると考えるが、グループワークの手法の多様化を検討すると同時に、講師のスキルアップを図っていくよう改善に努める。また、グループワークの比重が大きいプログラムについては、その旨シラバスに記載する等、プログラムの進行に関する情報を提供いただくよう講師に依頼する。
- ・講師から希望のあったプログラムについては、予め職種や所属を考慮の上、グループ分けを行っている。グループの指定がない場合は、同じ所属の方とは別グループに着席いただくよう会場受付で呼びかけるほか、講習冒頭に講師からも、受講者がより多くの方と交流いただけるグループメンバーとなるよう促していただく。
- ・講習冒頭でのスケジュール案内や配付資料については、いただいたご意見を参考に、講師依頼の際、受講者にご配慮いただくよう依頼する。
- ・プログラム内容及び講師の質向上のため、各プログラムの個別アンケートの集計結果を担当講師に開示している。また、上記のご意見を講師に周知することにより一層の質保証を図る。

■シンポジウムについて

- ・メインのシンポジウムの定員を増やしてほしい。
- ・シンポジウム「ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？」について、場の雰囲気は良かったが、事例紹介が別個のポートフォリオであったためにメリット・デメリットの比較をすることができず、またパネリスト同士の討論結果もセンセーショナルなタイトルに反し「質向上に貢献できる」であっさり完結してしまったことに不満。

対応

- ・開催校の中でも大人数収容可能な施設を会場としているが、定員には限りがある。できるだけ多くの方に受講していただけるよう、当日受講希望者の受入れを今後も行っていく。
- ・今年度は会場全体でテーマについて考えることができるよう、Twitter を利用して受講者の意見を受け付ける試みを行った。毎年新しいアイデアを導入し、受講者にご満足いただけるよう改善に努めているが、引き続きいただいたご意見を踏まえて検討する。

■運営上の要望について

- ・初めてのせいか、場所を勘違いして間違えたり、会場の建物に辿り着いても部屋の案内がなく迷ったことがありました。
- ・会場の誘導案内が小さく、分かりにくかったように感じました。
- ・スペースの問題なのですが、休憩所がもう少し広いと助かるかな、と思いました。
- ・自動車での乗り入れを許可していただきたい。
- ・既に満杯のコースであっても、キャンセルなどで「空き」ができれば参加できるような柔軟性があってもよい。
- ・このアンケート実施が遅すぎる。その日ならもっと記入できることが、時間の経過と共に記憶が薄れて行き、書くことができない。

対応

- ・会場の設営にあたり、誘導及び案内を適所に大きく表示する。
- ・休憩所については、会場校の都合上ご要望に添えないこともあるが、スペースの確保に努める。
- ・駐車場については、スペースの確保が難しいため、原則公共交通機関での来場をお願いせざるを得ない。
- ・定員に空きがあるプログラムについては、当日受付を行っている。プログラムの性質上、受入れることができないものもあるが、受入れ可能なプログラムについては、引き続き当日受付を行うとともに、その案内方法を工夫する。
- ・事後アンケートについては、これまでフォーラム終了直後に実施していたが、今回は参加者がフォーラムで得た知識やスキルを実際に活用しているか検証するために、実施時期を遅らせた。フォーラムに関する意見や要望については、フォーラム直後の実施が効果的であるが、効果検証の面では実施時期を遅らせる方が効果的だと思われる。今後は、それらの観点を踏まえ、事後アンケートのほか、効果検証の調査として、参加者の皆様にご協力をお願いすることとする。

■その他

- ・フォーラムの振り返りのグループワークなどがあるとなおいいと思った。

対応

・プログラムの構成上、フォーラム期間中に振り返りのプログラムを設けることは難しい。フォーラムで提供しているプログラムは実践的なものが多いため、修得した知識やスキルを所属機関内で共有していただき、日常の業務を通して振り返りを行っていただきたい。なお、その成果について、可能な範囲で事務局までご報告いただければ、今後のSPOD事業の改善に活用させていただくことができると思われる。